

FORZA 駒澤選手紹介 PART2

小林 亮 (DF・4年)

第二回目の選手紹介は駒大一のユ一ティリティープレーヤー小林亮選手です。幼い頃からサッカーひとすじだったという彼の苦勞の多かった高校時代、いい仲間に出会えたという大学生活の話も聞かせてもらいました。大学最後の年、さらなる飛躍を誓う小林選手に注目です！

幼稚園の頃からサッカーボール蹴っていました

サッカーを始めたのは小学校1年のときです。兄の影響で。兄が少年団に入って、幼稚園の頃からその試合についてまわって、自分も一人でボール蹴っていました。当時のポジションはFWです。点取るのが好きでやらせてもらっていました。他の習い事はエレクトーンをやっていました。自分からやりたいって言ってエレクトーンを買ってもらって小3までやりましたね。小4からはサッカーの練習が増えたのでサッカー一本に絞りました。エレクトーンに未練はなかったです(笑)。

少年団の監督は本当怖い人で、こども怖かったのが怒られないようにやりました。5年のときからレギュラーで右サイドハーフをやっています。このときに県大会で準優勝し、すごく嬉しかったのを憶えています。6年のときはトップ下かボランチをやっていました。キャプテンも任せられました。何にもしなかったんですけど(笑)。当時はとにかくやんちゃで元気な子供でした(笑)。毎日外で遊んでました。この頃は足速いほうだったんで運動会のリレーとかは活躍の場でした。サッカー以外の思い出は特にないです。サッカーのみですね。この頃からもうサッカー大好き少年でした。中学校時代はクラブチームでサッカーをやりました。兄がやっていたので、練習は監督が戦術にこだわりのある人でACミランの真似したりしておもしろかったです。小学校の頃はただサッカーを楽しむくらいだったんですけど中学生になって自分で判

挫折と成功を味わった高校時代

高校を武南にしたのもその試合に武南の監督が見に来てくれて自分を選んでくれたからです。漠然と武南に行きたいという気持ちがあったのでその試合でアピールできてよかったです。

高校では先輩も監督も怖いし、練習もきつくてついていくだけでいっぱいだった。やめたいって思うことも高校時代にはたくさんありました。1、2年のときは大変でした。幽霊部員みたいな扱いで。周りの友達もチーム入ってるのに自分はメンバーに入らなくて、それがすごく悔しくて。悔しい思い出ばかりです。でもつらくても練習は毎日行っていました。いつかチャンス来るだろうって。3年の新人戦初戦で(鈴木)祐輔がケガして2試合目センターバックがいなくて後輩が出たらうまくいかななくて。それまでずっとMFをやっていたんですけど後輩の代わりに途中から



断するおもしろさ、FWから中盤になって点を決める事からアシストするおもしろさを教えてもらいました。中学校の一番最後の大会で埼玉のクラブチームの一番を決める大会があって、そこで優勝したのが印象に残っています。サッカーを始めてから『優勝』っていうのは初めてで。決勝は自分のVゴールが決まって勝ちました。特別な思い出です。

自分には出来ないプレーをしていきたい

自分が出たらうまいって。それがDFの最初です。祐輔がケガから戻ってきたときには気づいたらサイドバックになってました。自分が挫折を味わっているとき、兄(慶行・東京V)はもうプロで活躍してたから自分も負けていけないと思いましたね。兄の試合見た次の日は自分も試合入るし。直接的にアドバイスももらったりとかは無いんですけど、兄の頑張っている姿を見とやっぱり励みになるし、いい刺激になります。兄の試合見た次の日は自分も試合入りますね。

高3になってすべてががらりと変わって、すべてがうまいきました。選手権は出たけど本当に嬉しかったです。ベスト8で国見には負けましたけどベスト16の試合で清商に勝ってインターハイの雪辱を晴らしたことが全てですね。決勝はテレビで見て試合終わった後に優秀選手が流れたんです。そしたらそのとき何も聞かされてなかったけど自分の名前あったんですよ。びっくりしました。今までやってきた事が認められた瞬間で嬉しかったですね。高校3年間はすべてを味わいました。挫折も成功も。今は武南に行くと良かったと思えます。

武南に行くと良かったと思えます。駒大を選んだのは兄が行ったからです。セレクションを受けて入りました。セレクション時は肉離れしててすごく痛かったです。でも走りもリフト

初めて試合に出たのはリーグ戦です。自分が出てから3点とられて悔しかったけど、手応えはありました。1年のときで印象に残っています。試合は大抵決勝で負けた試合です。その後は何をやってもうまいいかなかったです。元にもどったのは4年生が抜けたあとですね。2年の時は一年を通してチームに貢献できたんですよ良かったです。先輩の深井(正樹・鹿島)さん、巻(誠一郎・市原)さんは日頃の練習から真剣でした。プロになれる人はこういうところから違うのかなって思います。巻さんとはよく言い合いました。あの時はうらやまになって思っていました。今になってわかってますね。当時は練習中、手を抜く部分もあってそこを巻さんはわかってて言ってくれたんだと思います。3年は色々悩む一年でした。ミスがないのが自分の良い所だと思っんですけど3年の時はミスばかりで春先全然よくなって。4年になってからは自分のプレーよりもチームのことを考えて声出しか意識してやっています。自分がやらないと下もついてこないと思う。今年の4年は仲良いし、みんな協力してチームを盛り上げるのを意識してやっています。今すごく良い形になってきているのでこれを継続してやっていきたいです。駒大に来て良い監督、コーチ、仲間に出会えてすごく良かったです。

次節は埼玉で国士舘と対戦!

次節は埼玉で国士舘と対戦! <場所>埼玉第2スタジアム <日程>5月15日(土) 14:10 競技場へのアクセス ●最多高速鉄道「浦和美園」駅下車、徒歩15分。

鈴木祐輔から見た小林 亮

プレーが巧いですね。一つ一つのプレーが丁寧だし何でもできるから羨ましい。尊敬しています。精神面でもタフネスですね。自分に無いものを持っています。



～お知らせ～
FORZA駒澤BOXを駒澤大学駒澤校舎内の食堂にあるアイスクリーム売り場、学生部に設置しました。毎週金曜日に置いておくので、ご自由にお持ちください。

発行人 永峰 綾
スタッフ 野澤俊介
越智千絵子
市川紗織
遠藤雅之
関 翔一
深松美里

FORZA駒澤は毎週金曜日に発行! お便り、感想などはこちらまで
〒154-8525 東京都世田谷区駒澤1-23-1
駒澤大学マスコミ研究所内「駒大スポーツ・サッカー班」Eメール
forzakomazawa@otn.ne.jp
TEL/FAX 03 (3418) 9556 発行人 永峰 綾